

令和8年7月24日

令和7年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立小俣小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

⊙計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

⊙実施している

・実施していない

(3) 自校における評価

- ・第1学年からの英会話学習の実施が、英語によるコミュニケーションの基礎的資質づくりにつながっている。
- ・第1学年からの英会話学習の実施により、子どもたちは英語に慣れ親しむ様子が同え、第3学年からの週1時間の英会話学習がスムーズに展開されている。
- ・英会話学習の目的である「英語に慣れ親しむ」をよく理解した上で、今後も学習活動を展開することが必要である。

(4) 学校関係者による評価

〈児童〉

- 座学だけでなく、自由な雰囲気の中で ALT との英会話学習に取り組み、グリーティングやイングリッシュソング、絵カードやデジタル教材等を使用した活動を楽しんでいる。
- 令和2年度から実施されている「英語チャレンジデイ」を児童も楽しみにしており、英語を通して ALT と楽しく関わることができ、令和7年度も好評であった。

〈保護者〉

- 第1学年からの英会話学習の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっている。
- 英会話学習の実施によって、英語での挨拶や学習した単語を使う様子も見られる。
- 高学年では、自主学習として英単語を練習する等の取組の様子が見られる。

3. 実施の効果及び課題

〈効果〉

- ALT に対して、教室や廊下で「ハロー!」「グッドモーニング!」「グッバイ!」等の挨拶を、進んで行っている。
- 学習後には自ら進んで ALT に話しかけたり、その時間に学習したイングリッシュソングを口ずさんだりして、自然に英語に慣れ親しむ児童が増えてきている。
- 授業は勿論、それ以外の学校生活でも ALT と共に活動する機会を設けることで、ALT と教職員と児童の英語でのコミュニケーションを深めることができた。

〈課題〉

- 今年度から EAA がいなくなり、低学年は ALT の会話のスピードについて行けずに担任を頼る様子が見られた。
- ALT と担任との打合せ時間がうまくとれないこともあった。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- ALT との打合せ時間をしっかり確保し、学年の実態に合った内容を共に考えたり、より授業の目的に合った英会話学習を展開したりする。
- 低学年においては、担任が児童の様子を見取りながら、一緒に楽しむようにする。
- 「英語 チャレンジデイ」については、児童に好評だったので、さらに工夫改善をして実施することが望まれる。